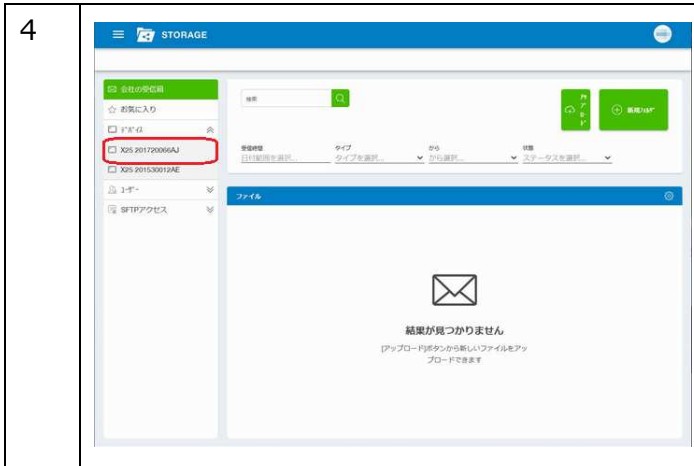


TAP – TAP STRAGE の管理方法

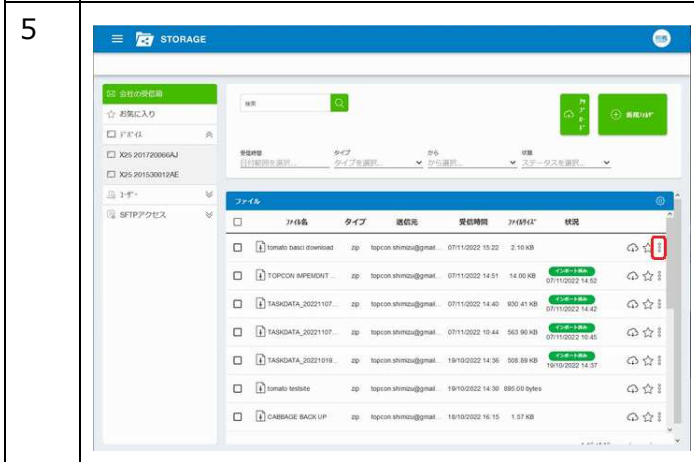
TAP メニューにある [STORAGE] の管理方法について説明します。

X コンソールからのアップロードやダウンロードを繰り返すと TAP の STRAGE エリアにそれらのデータが蓄積されていきます。TAP でのダウンロードやアップロード、もしくは読み込みなどでは、つねにこの STRAGE を経由して実行されるためになります。データが蓄積されたままでも特に問題はありません。蓄積されたデータが増えたとわかりづらくなるため、 unnecessary データは削除しておくことで管理しやすくなります。この説明では、コンソールのダウンロード/アップロードで使用したデータを整理する手順を説明します。

<p>1</p>		<p>ブラウザ左上の [メニュー] をクリックします。</p>
<p>2</p>		<p>プルダウンメニューが表示されますので [STORAGE] をクリックします。</p>
<p>3</p>		<p>[STORAGE] の画面になります。 [デバイス] をクリックします。</p>

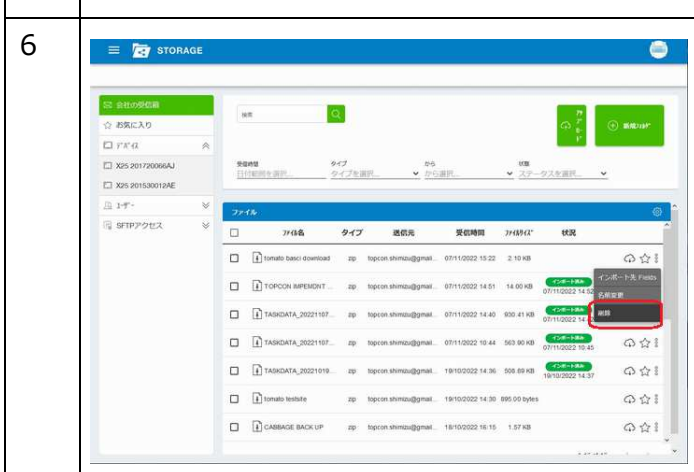


いままでアップロードやダウンロードしたコンソール名が表示されますので、整理したいデータが含まれるコンソール名をクリックします。

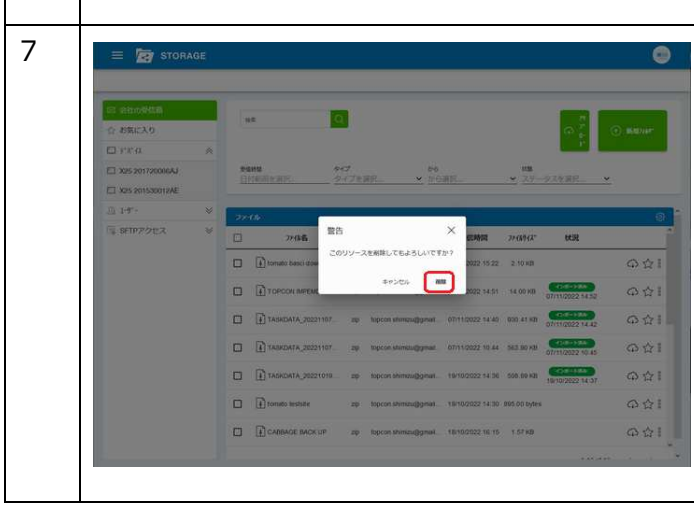


指示したコンソールとやりとりした STRAGE に保管されているデータの一覧が表示されます。

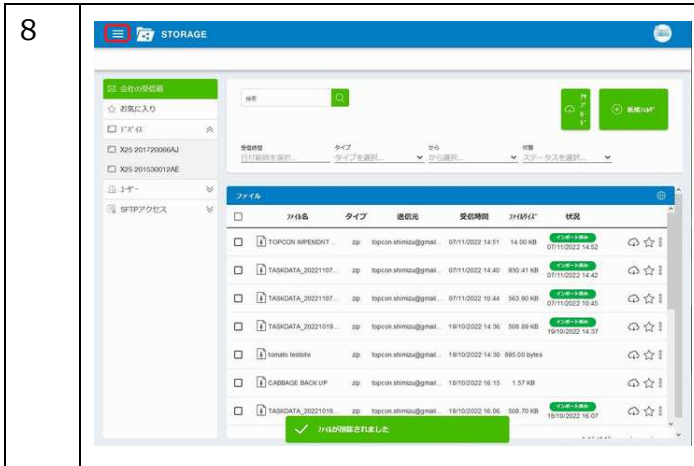
まず不必要になったデータを削除します。
削除したいデータの行の [メニュー] をクリックします。



プルダウンメニューが表示されますので [削除] をクリックします。

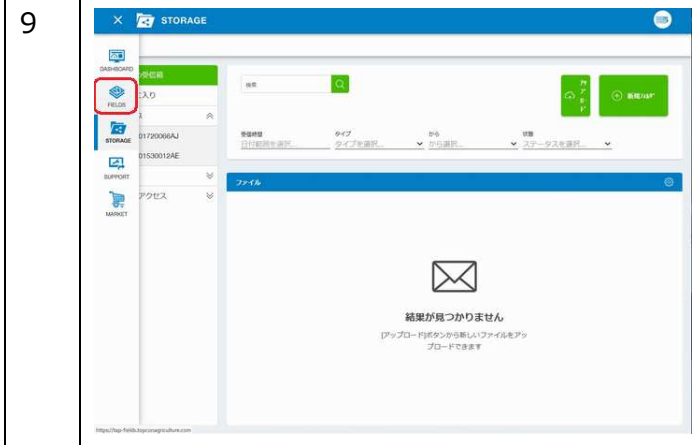


[警告] ダイアログが表示されますので [削除] をクリックします。

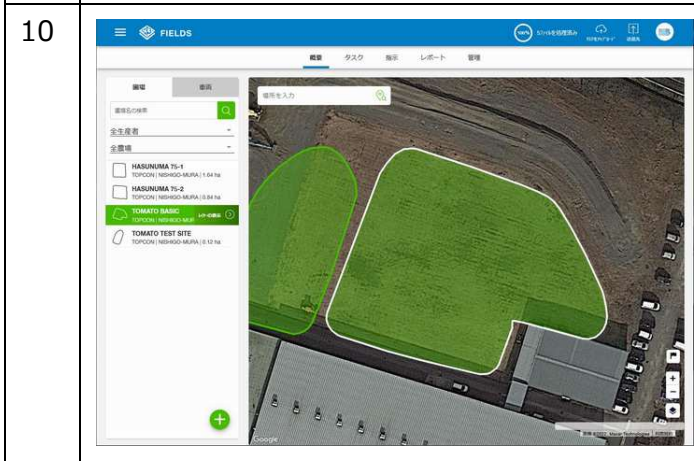


ポップアップで削除された旨が表示され、指定したデータが一覧から消去されます。

STRAGE での作業が完了したらブラウザ上部の [メニュー] をクリックします。



プルダウンメニューが表示されますので [FIELDS] をクリックします。



FIELDS の画面に戻ります。

STRAGE で削除したファイルは中間ファイルになりますので、FILELDS のデータには影響ありません。